

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (九州)	-	-	-	-
		商店街（代表者）	販売量の動き	・季節の移り変わりで、客の購入品目が増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏の厳しい暑さから過ごしやすい気候に変わり、外出の機会も増え消費も上向き傾向である。高額商品の動きは鈍いが、購入点数は増えている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温は高めで、中旬まで来客数が好調であった。中旬以降は週末に2度の台風襲来で来客数が減少した。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・気温が高かった前年よりも、気温が下がり秋の訪れを感じる今年の方が、衣料品の動きが良かった。4月以降外国人観光客が戻り、好調だった一昨年の実績までに戻した。
		百貨店（店舗事業計画部）	販売量の動き	・中国や韓国の大型連休を受けて、外国人観光客による売上は前年比で大きく伸びた。主力の化粧品に加えて婦人服や子供服等、以前よりも購買商品に広がりが見られた。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・安定政権により、客の購買への不安感がない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・食料品の売上は若干落ちているが、生鮮食品の売上が少しずつ伸びている。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・冷蔵庫、洗濯機、テレビ等大型家電製品の動きが良い。冷蔵庫の平均単価は前年比でやや下がっている。洗濯機、テレビは上がっているが、一服感はある。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・外国人観光客の伸びが順調で、来客数に比例して売上も上向きである。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・隣にある劇場の演目により稼働に影響が出ることが多いが、今月は顕著に表れた。しかし自社だけでなく、市内全体で高稼働、高単価だったことから、今月は特に景気が良かった。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・外国人観光客の入込が好調である。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・近場の韓国方面がまだ低迷している反面、東南アジア、ハワイ等の比較的単価の高い方面の予約が増えてきた。国内も関西、関東の大型レジャー施設が順調に推移している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・以前に比べて外国人観光客が増加しており、景気にかなりの影響を与えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は例年に比べて雨の日が多くタクシー利用客が増えた。通常、選挙中は夜の繁華街の人出が少なくなるが、今回は相変わらず観光客や催事が多く夜の街への影響は少なかった。
		通信会社（営業）	販売量の動き	・冬に向けて購買意欲が上がってきている。それに併せた販売促進活動も実施しており、その効果が表れるまでには時間を要するが、前年比で見ても上昇傾向である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・台風が2度も来るなど天候の不順により、客の多い日と少ない日のバランスが非常に悪かった。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・7月から一向に変わらない。製造業は忙しく売上はあるが、それに利益が伴わない。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・欲しいものがあってもまだあるので購入しない、収入が増えないから購入できないといった状況である。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・10月は台風が毎週末接近し、また総選挙があったため、商店街は閑散として人の動きがあまりなかった。	
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・皆に話を聞くと、売れないの一点張りであり、実際魚の売行きが悪い。スーパーマーケットも悪いのかも知れないが、小売店は本当に悪い。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・インターネットを見て電話での問い合わせがあり、売上がやや伸びた。	
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・来客数が減少している。季節的に活動しやすい時期ではあるが店の前を歩いている人の数は少ない。茶葉の仕入れ値も上がりますます売上は減少していく。	

百貨店（業務担当）	お客様の様子	・台風や選挙の影響もあり、来客数に影響は出たが、当面必要のないものは買わない、衣替えの時期だが洋服は沢山あるので買わない、消費税が上がる前にどうせ買うので今は買わない、という声が多い。
百貨店（営業統括）	来客数の動き	・10月の来客数の減少は天候不順が大きな原因だが、傾向変動としての来客数も前年を下回っている。また、株価の上昇を受けても富裕層の購買意欲の高まりはない。
百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・地元野球球団の優勝セールを行ったものの、3か月前と比べてやや悪い。外国人観光客は大きく伸びている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が減り、客単価は増えているが売上は厳しい状況が続いている。特に野菜の相場が高く売上がかなり厳しい。精肉も相場高で厳しい状況が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・前年は熊本地震の影響で競合店が2店舗閉店していたが、今年は2店舗共に開店して、来客数が前年比で84%で推移している。全体的に売上は前年比90%前後で推移している。青果の相場が安く、魚は風評被害で前年比79%と苦戦している。全体的には熊本地震以降、競合各店舗が出そろっており前年より厳しい。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・大手スーパーマーケットの積極的な店舗改装やディスカウントストアの出店等により来客数が前年比で減少している。客単価や購入点数は前年比増だが、価格選好型の買い回りをする客が多く、なかなか売上増につながらない。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・気温がなかなか下がらず季節商材の動きが悪い。
スーパー（統括者）	単価の動き	・ニュース等では景気が上向いていると言っているが、客は商品価格にシビアで不要な物は購入しようとしにくい。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今月は動きがわずかであった。来客数は前年並みであるが若干下回っている。客単価は前年をやや上回っている。全体的には来客数の落ち込みより客単価の上昇の方が大きく、売上はわずかに前年を上回っている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・競合店が閉鎖した。
コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・おでんやホットスナックの割引のお陰で来客数は増えていないが購入点数が若干増えた。今後加熱する温かい商品の時期になるので、気温が下がれば売上も増える。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の様子を見ても景気が良くなっているのかわか判断しにくい。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・相変わらずの天候不順と、7月に当地域を襲った水害の影響のせいなのか、来客がほとんどない。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・相変わらず、必要な物だけを買っていく単品買いの客が多い。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数に変化はないが、購買客数が減ったため販売量が減っている。また、1人当たりの購入点数も減少しており、改善の兆しはない。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・今月は総選挙があたり、台風で雨の日が非常に多かった。当業界は天候に左右されるがなんとか数字を確保できたのは景気が良くなったからではなく催事など企業努力によるものである。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月も景気は悪い。3か月前も良くなかったのでこしばらくは大型商品、高額商品が売れておらず、販売数も良くない。地区的要素もあるがここ何か月かは非常に良くない。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今年になって新型車販売が好調に推移している。複数の新型車が投入され、客の購買意欲が高まり、新型車効果による販売台数の増加が続いている。
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・都市部での販売促進活動は順調であり、地方でも来場者数は多かったが、売上にはなかなか結び付かなかった。店舗での売上も前年同月比であまり良くない。同業者の話も同様である。
その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	来客数の動き	・前年比で来客数は変わらない。売上もほぼ横ばいである。

その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（統括）	販売量の動き	・10月の燃料油の小売価格は上げ基調である。10月の3連休は、当地にて地方祭が催され、県外からの多くの観光客でにぎわった。また、中旬は台風と総選挙の影響で、一般的に販売は芳しくなかった。前年同月比で販売量は変わらない。
高級レストラン （支配人）	お客様の様子	・数か月間、昼夜とも来客数が横ばいである。
一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・選挙や台風の影響は多少あったものの、特に来客数が減った感じもなかった。ただ、予約状況は決して芳しくない。
都市型ホテル （販売担当）	お客様の様子	・繁忙期を迎え、売上・客数共に増えているが、大幅な売上増が見込めない。
都市型ホテル （副支配人）	来客数の動き	・当市内でのMICE関係、コンサート、スポーツ等の大会がたくさんあり、団体も個人も予約が強い。
タクシー運転手	お客様の様子	・週末の度に雨がが多く、県外からの客のキャンセルが多くなり、タクシー利用は伸びなかった。
タクシー運転手	来客数の動き	・当県では10月に大きな祭りがあるが、今年は曜日が良く人出が非常に多かった。それ以降は台風が2度もきたため客足が遠のき売上が落ち込んだ。全体としては横ばいである。
通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・この時期は催事が多く、落ち着きのない雰囲気になるが、今年に関してはそれが景気につながっている様子がない。
通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・販売件数は横ばいである。市場に停滞感がある。
観光名所（従業員）	来客数の動き	・夏期休暇中は個人客が多かったが、今月は何台もの大型バスが客を乗せて観光しているのを目にする。
美容室（経営 者）	販売量の動き	・年末に向けて売上が増えることを期待したが、周りを見ても売上が改善する要素がなく伸びていない。天候要因もあるが、当業界は年末に向かって伸びる時期であるが活気がない。
美容室（店長）	お客様の様子	・テレビでは景気が良くなったと言っているが、実際の回りでは景気が良くなったとは聞かない。売上も変わらない。
その他サービスの 動向を把握できる者〔介護 サービス〕（管理 担当）	単価の動き	・医療機関の介護事業への進出や、来年度から本格的に開始される総合事業の影響により、同業他社が重度介護利用者確保に動き、価格の下落につながっている。
設計事務所（所 長）	単価の動き	・標準の件数費や各種材料の単価は上がってきているが、それに見合う対価が支払われていない。
設計事務所（代 表）	お客様の様子	・客の様子が特に変わらない。
住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・今月は来客数も良く成約に至ったものもあった。景気が少し良くなっている。
住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・競合他社も多く、慎重な客が多い。
百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・天候不順もあり、衣料品の不振は深刻である。来客数は前年実績を超過しているものの購入率、客単価の減少が続いており回復しない。
百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・前半は総選挙の影響もあり低調で台風の影響もあったが、後半は季節商材がやや好調に推移している。売上をけん引しているのは外国人観光客である。戦略的には当てにしていけないが、前年の倍以上の売上である。高額商品の動きが非常に好調である。
百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・気温低下とともに衣料品の販売量は増えているものの、台風の影響等、天候不順や流行の変化がなく伸び悩んでいる。
百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・台風が週末ごとに接近し、その前後も雨の期間が長く、9月の九州北部豪雨から間もないため、売上や来客数に影響が出た。
コンビニ（経営 者）	単価の動き	・1品単価が下がっている。前月は151円だったが今月に入って143円と8円下がっている。購入点数も5点から3点へ下がっている。売上も前年比94%と大幅に下回っており、厳しい状況が続いている。毎週末の天候不順も要因だが客の財布のひもも固い。
家電量販店（総 務担当）	販売量の動き	・端境期に加えて、台風の接近が週末に当たったため、少なからず影響を受けた。
ドラッグストア （部長）	販売量の動き	・台風の影響により売上が落ち、台風通過後も反動による売上増が期待したほどなかった。当社の営業努力の問題もあるが、景気的な要素もある。

	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・前年比で来客数が激減した原因は、前年は人気映画の影響で売上が良かったこと、今年が入替え工事による大型店舗が閉鎖したことである。全体的な景気観よりも、直接的な原因で苦戦している。
	その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・今月は週末に2度も台風に見舞われたため、行楽シーズンにもかかわらず売上が低迷している。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は2週も週末に台風が来てキャンセルが多く出て客足が落ちた。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・大企業の収益が上方修正されるなか、地方の飲食業界にその影響、恩恵はない。
	観光ホテル（総務）	販売量の動き	・今月に限ってみれば、前月、前年同月に比べ、落ちている。熊本地震後の復興特需の反動減が見られる月が出てきている。
	通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・他業種の参入が活発化している。客の要求も複雑になっているため、本業の割合が大きい案件と小さい案件で競争が激しくなってきた。
	競輪場（職員）	競争相手の様子	・各地の記念レースの発売額が、前年比で大幅減になっている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・3か月前はまだ店ができておらず10月から開店したが、広告を出しても客の反応がない。
	音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・最近では月謝制度が好まれない。お金にシビアである。
	× 商店街（代表者）	来客数の動き	・台風等、天候が悪い1か月で来街客数、売上全てにおいて前年、3か月前を下回っている。
	× 一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・当県は台風は直撃しなかったが、ここにきてサニーレタスが影響を受けている。関東方面ではキュウリに影響があったため、当県のキュウリが高騰し、50本入り5キロが一箱8,000～9,000円で、現在も5,000円と一本当たり100円くらいである。販売が厳しいなか、原価が高騰している。
	× 乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・天候の影響もあり、週末の来客数は大幅に減少した。
	× 高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は総選挙があり会社関係が動かなくなるので閑散期であった。来客数の伸びがなく悪かった。
企業 動向 関連 (九州)	農林水産業（営業）	受注量や販売量の動き	・季節要因で需要が高まっており、市況も悪くない。
	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏場の売上が期待したほどでなく、その反動がもしれないが今月は居酒屋、スーパーマーケット関連の注文が全体的に多い。冷凍食品加工向けの原料肉も生産量が多い割には発注が順調である。当月も台風が2度も接近したが、どちらも週末であったため工場の生産、売上商品にも大きな影響はなかった。これも好調の要因である。
	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・例年では価格が上がる時期に上がらなかったこともあり厳しい。10月中旬から上向きであったが、この2週間の台風で生育に影響が出ている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節的に販売量が増える時期である。
	金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・例年下期に受注や売上は増加傾向になるが、例年以上の受注量の増加である。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が多くなってきている。平均で5～10%くらい増えている。
	電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・一部の受注に関して、大手からの価格提示に対して価格交渉ができるようになった。
	その他製造業〔産業廃物処理業〕	取引先の様子	・半導体関連では好調で見通しも良くなっているが、電子部品関連では材料調達がうまくいかず低調である。
	建設業（社員）	取引先の様子	・下請業者が業種によっては、不足気味になっているが、土木工事の下請施工に関しては見積依頼が少ない。官公庁の発注が下火になっている。土木工事の民間工事が少ない。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・百貨店やスーパーマーケットの売上が増加しているほか、新車や家電製品の販売も増加傾向にある。また、住宅販売が高水準で推移している。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・一戸建ての住宅会社は増税を予想していることもあるが宅地の仕入れを積極的に行っている。客の方も住宅ローンの受付が増えておりやや良くなっている。

	金融業（調査担当）	取引先の様子	・需資は堅調である。取引先から売上減少等のマイナス要因を聞くことがない。
	新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・総選挙で広告発注が大きく動いた。
	経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・客が高額商品に目を向け、高額商品の在庫が少なくなっている。
	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・雨の日が多く、薄物の商品があまり売れず、工場も暇であった。弊社は、制服を手掛けているので影響はないが、運送料と最低賃金の値上がりは、厳しい。
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・10月の売上指数は103だが、今年の10月は100を割り込みそうである。指数で一番大きいのが2月の142%だが、2月の売上見込みは今のところ前年比90%程度である。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋口である今が一番活性化していないといけなのだが、受注が思うようになっていない。10月中旬から注文が来なくなったという話も聞く。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・客の話からも、以前と変わらない。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前月同様、貨物が当地に集中しているため倉庫が不足している。貨物の荷動きが好調であれば自社倉庫内で補えるものもあるが、入庫が多く出庫が少ないため、各社共に頭を抱えている。人も物も当地に集中していることも当業界を悪くしている要因である。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・急に冷え込んできたので、季節商材の荷動きが活発になってきている。しかし肝心の配送業者が人員不足で値上げ及び配送条件交渉を提案しており、景気に水を差している。
	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先との話だが、株価上昇を好感しているが地方まで景気が届いている様子がない。
	金融業（営業）	取引先の様子	・取引先から、景気はある程度の水準を維持している。受注したい人が足りず、今以上の受注はできないとの声を聞く。
	経営コンサルタント（社員）	それ以外	・10月中旬にセミナーを開催したが、一般の参加者はいつもと同じようであった。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先に業況や投資計画について聞くと、変化がない会社が多い。
	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・九州北部豪雨の影響で保留になっていた自治体の調査や計画策定業務が、復興計画の策定に伴って、改めて開始される状況になった。そのため、契約の運びとなるものもあり、景気への悪影響が薄らいている。
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・単純な設備更新や補助金を活用したリースなどの引き合いは増加している。地方公共団体からも問い合わせが増加している。連携の話も多く、今後はSPCを組成して、事業を行う案件が増加する。取引先は安定に推移しているが企業によって差がある。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・10月に入って台風が2度も来る等、小売業、観光業は若干潤わなかった。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・夏場から景気が弱含んでいるが、特に10月は天候不順により全般的に小売業は悪い。
	x	-	-
		-	-
雇用 関連 (九州)	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣している非正規社員の中で、正社員としての就職が決まったと契約途中で辞める者が数人いた。派遣社員の中にも、正社員を目指したいという理由で契約を更新しないスタッフが徐々に出てきている。正社員の求人が増えている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・引き続き売手市場、残業抑制等で企業からの問い合わせが増えている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人数の増加が顕著であり、それに伴って正社員求人も増加している。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・契約終了も新規依頼も微増であるが、若干依頼件数が上回っている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数が求人数に対し、圧倒的に不足している。企業から提示される派遣社員の時給は上昇を続けているが、正社員求人数も増加しているため派遣会社への新規登録者数が減少している。各業界の景気は良く、人手不足が続いており求人数は多く獲得できているのに、人材が不足しているため紹介できず、成約に至らないことが非常に多い。

	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・総選挙事務の求人が一時的に増えたが、長期案件は落ち着いている。生命保険会社事務所が多い地域であり、年末調整要員等の需要は増えている。
	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・ホテルでの婚礼を請け負っているが、披露宴規模も縮小傾向で、婚礼部門を縮小するホテルも増えている。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・当社の求人情報の取扱件数の減少に歯止めが掛からない。採用難が大きな要因である。
	新聞社[求人 広告](担当者)	それ以外	・熊本地震から丸1年の節目を過ぎ、日常生活における復興需要も一段落した。企業の販売促進活動においても平時の対応が多く見られる。
	職業安定所(職 員)	それ以外	・自動車部品製造、食品製造等の製造業等の景気は良くなっているが、小売業等は景気が悪くっており、平均すると変わっていない。
	職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・建設、福祉・看護、警備等の人材不足分野を中心に求人は増加している。ただし、これらの分野は求職者が少ない。また、接客業や調理、理美容業や介護等のサービス業の分野も求職者が少なく、求人はあるが充足が難しい。
	職業安定所(職 業紹介)	求人数の動き	・引き続き求人数の増加が見られ管内の有効求人倍率は高い水準で推移している。
	学校[大学] (就職支援業 務)	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票の受理件数は、前月、前年と比較して若干減少している。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・受注経緯を見ると純粋な業務繁忙のための追加人員枠ではなく、社員の欠員補充等での依頼が多い。地方の一部地域で求人数が増えている所はあるが、中心地では求人数が落ち着いている。
x	-	-	-